

データ連携基盤を介した広域データ連携実証を開始 ～C4IR Japan と加古川市、及び三田市で自治体間連携を推進～

本市は、世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター（センター長：山室芳剛氏、以下「C4IR Japan」という。）、加古川市（市長：岡田康裕氏）と連携し、「データ連携基盤を介した広域データ連携実証」を、3月15日から開始します。

本実証は、本市が設置した浸水センサから取得した浸水域を把握するためのデータを、加古川市が運用しているデータ連携基盤を介し、加古川市の行政情報ダッシュボード（地図上で各種データを重ねて確認できる仕組み）に表示させる取り組みで、本実証の開始にあたり、3者で共同のプレスリリースを発表しました。【別紙参照】

なお、浸水センサは令和4年度に1基試行で設置し、令和5年5月以降に市内に設置個所を増やします（設置場所及び個数等については調整中）。浸水センサの増設は、国土交通省の令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験を活用して実施します。

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター

兵庫県加古川市

兵庫県三田市

2023年3月15日

「データ連携基盤を介した広域データ連携実証」の実施 ～三田市の浸水情報を加古川市の行政情報ダッシュボードで可視化～

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター（センター長：山室芳剛 以下C4IR Japan）と加古川市（市長：岡田 康裕）、および三田市（市長：森 哲男）は、都市間における相互運用性に向けた連携として、将来的な広域でのデータ連携基盤の活用や相互運用性の確保に向けた実証実験を3月15日から開始します。

加古川市では、国土交通省が実施する浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組みの構築に向けて、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するワンコイン浸水センサ実証実験に令和3年度から参加しています。さらに、センサから取得した浸水情報については、データ連携基盤を介し、行政情報ダッシュボードに可視化し、治水対策等への活用を検討しています。

また、三田市においても、令和4年度からワンコイン浸水センサの設置を進め、浸水域を把握するための実証実験を開始することになりました。しかし、加古川市のように浸水情報を可視化するためのデータ連携基盤を導入することは、費用対効果の観点から持続可能な運用に課題があります。

都市間における連携と体系的な相互運用性は、運用や費用面での利点が認識されているものの、行政区分が障壁となり、実現のハードルが高と言われてきました。今回、G20 Global Smart Cities Alliance（以下、GSCA）*の取り組みとして、三田市が取得した浸水情報を加古川市が運用しているデータ連携基盤を介し、加古川市の行政情報ダッシュボードに表示させる実証実験を実施することで、広域でのデータ連携基盤活用を目指します。

*Global Smart Cities Alliance(GSCA):2019年に設立された国際的な都市連合。世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターが事務局。「競争から協調へ」を掲げ、参加する自治体がデジタル化の便益を享受し、リスクを回避するためのベストプラクティスを共有するコミュニティ活動を支援している。国内では加古川市、三田市を含めた28の自治体が加盟している。

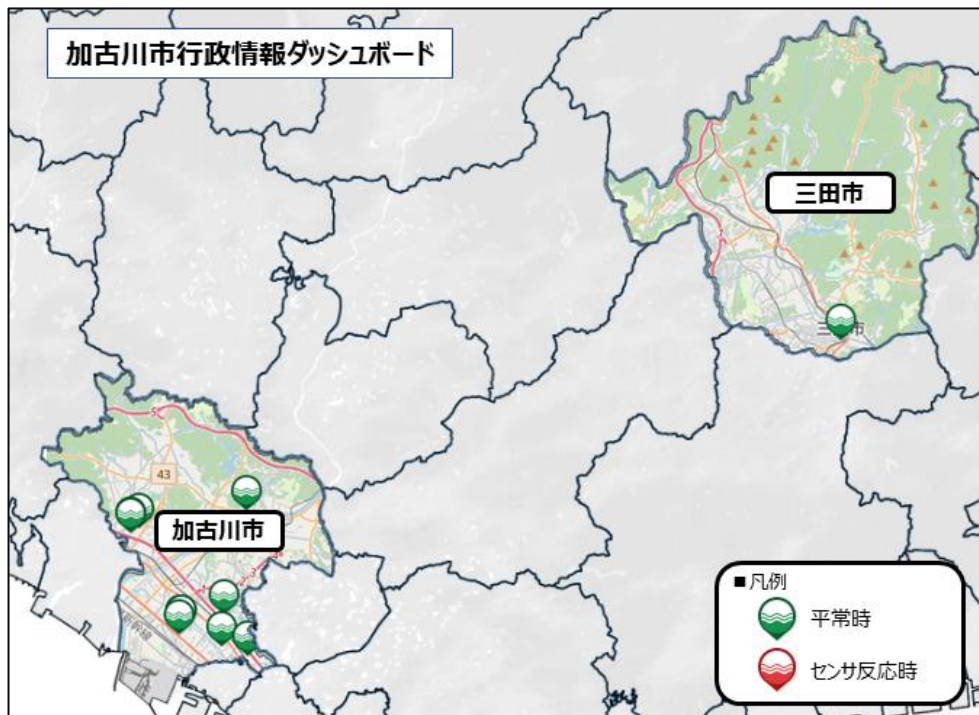
【実証実験の概要】

- (1) 三田市内に設置した浸水センサから取得したデータを加古川市のデータ連携基盤に連携し、加古川市の行政情報ダッシュボードに可視化し、浸水状況を把握する。
- (2) その他データ連携基盤の利用・普及につながる取り組みを実施する。

【実証期間】

令和5年2月下旬から令和6年3月31日まで（予定）

※加古川市行政情報ダッシュボードイメージ図



※三田市センサ設置状況の様子（令和5年2月）



■本件に関するお問い合わせ

- ・世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター（担当：平山）
- ・加古川市企画部政策企画課スマートシティ推進担当（担当：多田、陰山）
Tel：079-427-9373
- ・三田市総合政策部未来戦略室スマートシティ推進課（担当：松本、岩崎）
Tel：079-559-5096